

平成28年度 第2回河北町総合教育会議会議録

平成28年8月25日（木曜日）

1 出欠席者氏名

河北町長 田宮栄佐美 河北町教育長 原田孝夫

河北町教育委員 真石由美子 板坂憲助 高木茂宏 小林真公子

欠席者（0名）

2 事務局職員の職氏名

学校教育課長 佐藤晃一 生涯学習課長 矢作勲

教育主幹(兼)指導主事 大竹 純 課長補佐(兼)管理係長 田川美和子

3 日 程

平成28年8月25日（木）午後3時開会、開議 河北町役場3階・委員会室

1 開 会

2 田宮町長あいさつ

3 協 議

(1) 第2次河北町教育振興計画の策定について

4 その他

5 閉 会

---

1 開 会

○田川課長補佐(兼)管理係長

ただいまより、平成28年度 第2回河北町総合教育会議を開催いたします。初めに田宮町長よりご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

○田宮町長

今日は2回目となる総合教育会議で、1回目から今日までの間、いろいろ議論していただきました。計画について説明を申し上げて、今後についてお話をいただきたくよろしくお願いします。

○田川課長補佐(兼)管理係長

それでは3の協議に入らせていただきます。協議事項は第2次河北町教育振興計画の策定につい

での1件になります。座長を田宮町長にお願いします。

### 3 協議

○田宮町長

(1)第2次河北町教育振興計画の策定について説明をお願いします。

○佐藤学校教育課長：資料により説明

資料：第2次河北町教育振興計画について

：施策の体系

○田宮町長

第1章2章については、委員のみなさん、これで良いということによろしいでしょうか。

○佐藤学校教育課長

先ほど、教育委員会を開催して、第1・2章について説明をさせていただきました。

○田宮町長

1・2章については方向付けをしてもらったという上での議論でいいですか。

○佐藤学校教育課長

はい

○田宮町長

議会の常任委員会ではどんな話になったのか。

○佐藤学校教育課長

学区制の話がでました。もっと具体的に踏み込んだ内容で記載してほしい、文化財保護体制の強化やリーダー育成等、具体的に示せるものは示してほしいという意見があり、第3章で記載していくという回答をしました。学区については、教育振興計画の中で最後まで述べるのではなく、方向性を示すのであり、その後、具体的に計画に従って動いていくということを話させていただきました。ほかには、人口減少についてで、将来人口について何を基にして取り組んでいくのか、という質問については、町の総合計画で目標とする人口にあわせた形で児童生徒数を考えていくと回答しました。

○田宮町長

議会からあった意見も踏まえながら、第3章に向けて具体的な内容を検討していただくということになるが、全体を見てご意見等あればお願いします。

○小林委員

8の英語教育の町の魅力再発見とあるが、これは郷土愛に入るのではないかと思います、こ

の英語教育に入れたのはどういう意図なのでしょうか。

○佐藤学校教育課長

昨年度、今後の英語教育について外国語普及検討委員会を立ち上げ、いろいろ議論いただき提案をいただきました。今年度事業として二つの事業を行っています。その一つとして英語版の町のHPの作成で、先日、山形大学の留学生の方に町を巡っていただき、その後、感想を書いてもらい、それを英語版で町のHPで発信していく内容となります。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

形としては、そのようになるが、河北町の振興計画なので、そういった取り組みを町民の皆さんから参加してもらって、英語というフィルターを通して河北町の魅力を再確認という狙いになっている。副産物というかものとしては英語版のHPができるということはあるが、基本的には町民の皆さんの学びの場というところからは、ずれてはいかないと思います。

○佐藤学校教育課長

大事なところは、その感想をもとに講座に参加した町民の方が、英語版のウェブページを作っていくということであります。

○板坂委員

第3章のプロット立てが統一されていないように感じます。たとえば、1のいのちの教育の推進のところに道徳教育がありますが、どちらかというと2の豊かな心の育成に入るのはないかと思います。あとは、5の特別支援教育の充実の中で推進体制、6の個々の能力を伸ばす環境整備の中で支援体制、そうくるならば7の教職員研修の充実の中ではOJTではなくて、研修体制ときて、その中にOJTとかが入ってくるのではないのでしょうか。その辺、大まかな表現で、9のICT機器を活用した教育の推進の中で授業づくりとありますが、どれにでも入ってくる内容のものであります。10の豊かな自然を生かした環境教育の推進の中にある二つの○の項目も、どれにでも当てはまる内容となっています。第3章で並べられたいくつかの○がありますが、そのネーミングが見て「なるほどな」と思える、もっと焦点化されたネーミングがあるのではないかと思います。

○佐藤学校教育課長

道徳教育については、事務局でも大変悩んだところであります。1・2・3どこに入れるか、どこにでも入るということで。ボリュームのバランスを考えて結果的に1になった経過であります。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

事務局提案は2でしたが、策定委員会の委員の皆さんが、思いやりというか、いのちの教育の中でいじめ防止のところに、その人に対する思いやりというところに触れなければ、だとすると道徳教育がばらけ

てしまう、とするとどこかで述べてしまっただけということで、提案いただいたのが1のいのちの教育でということになりました。いじめと連動しているという策定委員会の皆さんの考え方なのかなと受け取っています。

○真石委員

やはり2の豊かな心の育成に入れた方が、すっきりするのではないのでしょうか。

○原田教育長

いじめ・不登校等への対応という中で、子どもたちに対して、どのように日ごろから接しなければいけないかということを述べてと言っているのですか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

そこまで策定委員の皆さんへは示していない状態での議論ということでもあります。私の考えとしては、いじめの部分については、解消率の向上であるとか、あるいはシステム的な部分のところでの対応という意味で。逆にここに道徳がはいることによって、実は道徳で何を書くかとなると、システム的なことを書いても仕方がないので、本当は2に戻していただきたいというのが本音であります。これからまた、策定委員会がありますので、ご提案申し上げたときに、こういう話があったということを伝え、こちらの構想どおりに提案することは十分できるかとは思っています。

○田宮町長

いのちの教育の基本はどこなのか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

県の5教振の中でも述べられてきた中身で、その後6教振に継続されている中身であります。基本的には自尊感情を育てるとか、いのちの尊さにとりか、そういったものを含めた形で、ひらがなで“いのちの教育”と打ち出して継続しています。

○原田教育長

大元は教育基本法であります。

○田宮町長

必ずしも、いじめ、不登校と連動しているものではないという考え方でいいのか。

○原田教育長

はい。

○田宮町長

そういう話なので体制については、2の豊かな心の育成の方に戻すという意見が、委員のみなさんから意見がでましたがどうでしょうか。(全員了承)

ネーミングについては、ポイントをつかんだ内容ということで考えただけだと思います。

○真石委員

14の地域の教育力を高める活動の推進の中の、ボランティア活動とリーダー育成とありますが、若者の活躍を推進する機会を、この辺にもてないのでしょうか。若い世代の人達が行政のほうで育てる機会があると町の活性化に繋がるし地域の教育力にもなると思います。

18の男女共同参画社会の実現の項目として啓発活動とありますが、弱いのではないのでしょうか。

○小林委員

山形の男女共同参画センターのチェリアではいろいろなことをやっているの、そういうところから情報をもらって町だったらどういことができるかということを少しいれたらいいのではないのでしょうか。

○田宮町長

男女共同参画の計画書を作成しました。

○矢作生涯学習課長

計画があるので、計画の推進ということで項目も必要と思います。

○原田教育長

委員の皆さんの学区再編についての考えについては。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

策定委員会で話をしたところ、この場で具体的にこうしようということを述べるのは、できれば避けたいというのが圧倒的でした。

○原田教育長

現状を見て、何とかしなければならないという気持ちがあっても、なかなか具体的にこうするというと、この振興計画の中に盛り込むということには難色を示しています。方向性を示すということについてはどうでしょうか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

それすら、難しい状況であります。それまでの道筋という部分での方向性なら有りかなとは思いますが、この方向にあるべき、というのはできないということでもあります。

○原田教育長

教育振興計画の中では課題があると、そして何とかしなければという問題意識について書くことについては可能ですよね。学区の再編ということについて、教育振興計画を受けて新たな別の機関を作って、その場で具体的に検討する必要があるということではどうでしょうか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

そういう道筋でということであれば問題はないと思います。そこで話題になるとは思いますが、具体的に盛込むとなると、具体的にという一人ひとりの具体的がおそらく異なっているのだと思います。議員のみなさん、策定委員のみなさん、私たちの言っていることは、たぶん一致しないと思います。どこで折り合っていくかというところで、こちらで提案していかなければとは思っていますが。作る側としては、どこまでというのは迷うところであります。

○原田教育長

策定計画が終わった段階で、新たな組織の中で方向性を検討していくということであれば問題はないということで。

○高木委員

p9 で区域外就学を認めるとありますが、これはどういった内容になるのですか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

希望ではなく、一定の要件を満たす場合である。

○田宮町長

議会でも、何回も一般質問等で答えています。最終的にはこの会議で方向性を示していただきたいと思っています。ですから策定委員会としては、各委員の思惑があって考えを持っていても言えない、現状のままではダメだよ、ということがあって話ができないということなので。みなさん、ここで話をさせていただいて、具体的にそれではどこか、そこまでしていかないと、やはり手順を踏んでいかないとダメだと思いますので、策定委員会の人には、方向付けは、きちっと道筋は作ってもらって、そして具体的にどうするかということは個々の議論を踏まえて進めていく。また、4 の確かな学力の育成の項目に授業改善とあるが内容はどのようなものですか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

7 番のところということとは組織的なところであって、授業を改善して子どもたちに力を付けていくというあたりは4 で述べていかなければならないところだとは思っています。基本的には国・県でやっているアクティブラーニングの部分のところを大きく取り上げて書いていくことになると思います。

○原田教育長

当初、教えるという授業意識から逆に子どもたちが学び活躍するような場面を作っていくようにしていかなければならないといひいます。

○田宮町長

たとえば探究型という言葉が随分使われているが、それはどういう分野に入るのですか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

4の確かな学力の育成の中の項目の授業改善になります。

○小林委員

実際、第3章で詳しく述べていく間に、○の項目は増えていくかもしれないということになるのですか。

○原田教育長

逆に統合して、減ってくる場合もできます。

○高木委員

生徒が活躍する授業では、西部小学校の複式学級を見させてもらって、上の子が下の子に教えるという  
良い環境ですごくいいなと思いました。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

アクティブラーニングの原型みたいなものだと思います。

○原田教育長

今回の振興計画を次回の策定委員会では、こちらが原案を作ったの、それに対する意見というだけでなく、われわれはこういう思いで原案を出しているという思いというか、そういうところも説明していかなければと思います。

○田宮町長

いろいろご意見をいただきましたが、教育長から話しがあったように策定委員会のほうに経緯を申し上げて、最終的には諮問をしているわけで、その方針を受けて方向性はきちっと決めなければいけないと思っています。答申書のとおりになるにしても、皆さんの気持ちが組み入れられるような計画に是非、仕上げていただきたいと思います。次回はどのようなかたちになるのですか。

○佐藤学校教育課長

今後は、資料の破線の部分の原案を作り、まず事務局会議を開いて、その後、策定会議、策定委員会に第3章について説明して意見をいただくことになります。

○田宮町長

スケジュール通りにはいつているのですか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

策定委員会は10月3日開催である。

○佐藤学校教育課長

策定会議は9月の20日頃になります。

○原田教育長

とりまとめをして、第3回目の総合教育会議はいつ頃になりますか。

○佐藤学校教育課長

11月下旬になります。その後、パブリックコメントをして最終答申が3月になります。

○田宮町長

それでは、ほかになれば協議を終了させていただきます。

4 その他

○田川課長補佐(兼)管理係長

これで平成28年度第2回河北町総合教育会議を閉会いたします。

5 閉 会

～午後4時05分